

残したい

想いと風土

高山市

車田保存会 会長

大森 茂樹さん
おもり しげき

神聖な車田は地域の宝

仲間たちと伝統を引き継ぎながら
たくさんの人に知ってもらうための
活動にも力を入れていきたいな



神聖な丸い田

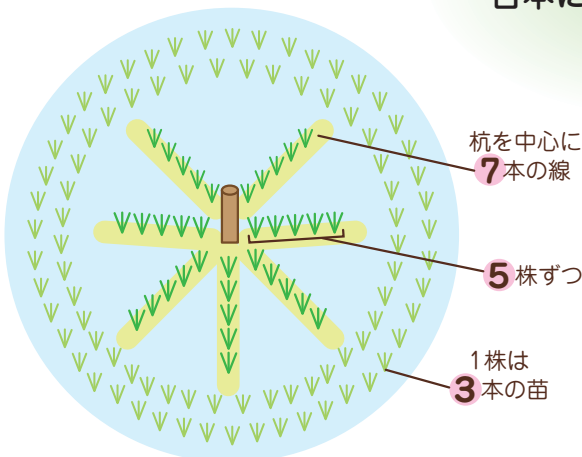
高山市松之木町に暮らす
大森茂樹さんは、「車田保存
会」として長年活動してい
ます。

車田とはその名の通り、
丸い形をした珍しい田で、
古くから神聖な田として大
切にされてきました。現在
は高山市松之木町と新潟県
佐渡の2ヶ所のみに現存し
ています。この車田を守っ
ていくために集まった保存
会の皆で、初夏には田植え
唄を歌いながら田植えをし、
秋には稲刈りを行います。

また、近隣にある車田史
跡公園に親しんでもらうた
めのリーフレット制作や
キャラクターの考案など、
地域の人に知ってもらった
めの広報活動にも取り組ん
でいます。

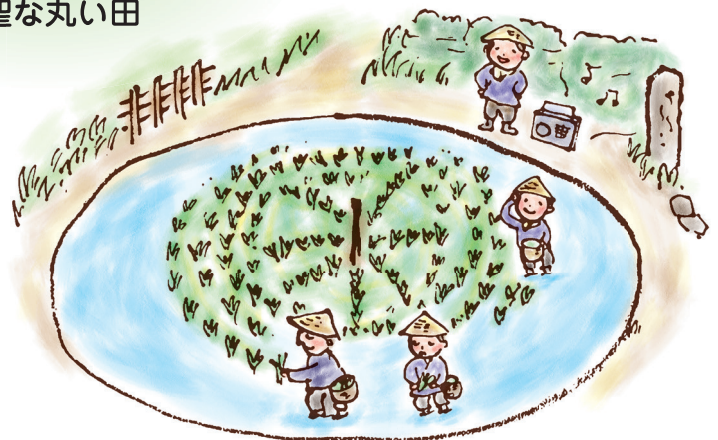
岐阜県指定 重要無形民俗文化財 松之木町の「車田」

日本に2ヶ所のみ現存する
神聖な丸い田



七・五・三の田植え

車田の中央に立てた杭から7本の
線を引き、その上に5株ずつ3本
の苗を植えます。
周りは同心円状に植えていきます。



伝統を守る車田保存会

以前は車田を所有する家族によって伝統が継承
されてきました。現在は保存会の有志によって、
昔ながらの方法で田植えや稲刈りなどの作業を
行っています。



キャラクター考案

キャラクターを考案し、ネーミング募集や塗り絵コンテストを企画しました。

車田の田植えは「七・五・三」の田植えと呼ばれる特殊な植え方をします。田植え唄もあり、民謡歌手に歌ってもらったCDを流しながら作業をしています。「稲刈り唄」も歌詞は残っており、

そして地域の子どもに稲刈りや縄ないなどを体験してもらい、車田に親しみを持ってもらえるような地域との関わりを続けていきたいと願っています。

未来に向けて

伝統を守りながら
新たな夢にも挑戦しています



リーフレット作り

車田周辺の「車田史跡公園」に多くの人に訪れてもらうため、リーフレットを作りました。

伝統とこれからの夢

松之木町にある車田は個人の所有で、「車田保存協力会」があった時期もありましたが解散され、人手がなくて苦勞されていました。同じ町内にある「七夕岩」の祭りは地域で行っており、車田の伝統的な部分も同じように地域の宝なのではないかと考え、協力者を集めて「車田保存会」を立ち上げました。

保存会の立ち上げ

同じように音源にしたいという思いを持っています。

昔は収穫した米を伊勢神宮へ奉納していたようですが、現在は行われなくなりました。

車田の伝統を継承していくだけでなく、車田史跡公園のリーフレットを作ったり、キャラクターを作って塗り絵コンテストをしたり、楽しんでもらう活動もしとるんやさ。これらの活動を支えてくれるのは、保存会の若いメンバーたち。まちづくりフォーラムの展示を見て興味を持った人が、他の地域からも参加してくれています。車田を盛り上げてくれる仲間を増やしていきたいな。

いま、
伝えたいこと



（文・絵
画）大森 貴絵
高山市